



▼一般会計決算の状況

区 分	平成28年度	平成29年度
歳入額	1370億円	1358億5500万円
歳出額	1351億2800万円	1341億5600万円
歳入歳出差引額 A	18億7200万円	16億9900万円
翌年度繰越額 B	2億5000万円	2500万円
実質収支額 A - B	16億2200万円	16億7400万円
単年度収支額	▲2億7200万円	5200万円

※単年度収支額は前年度実質収支額との差額となります。

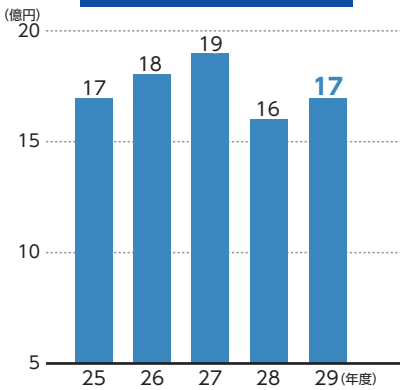
平成29年度決算 速報値 実質収支は17億円の黒字

☎ 財政課 ☎ 841・1311、FAX 841・3039

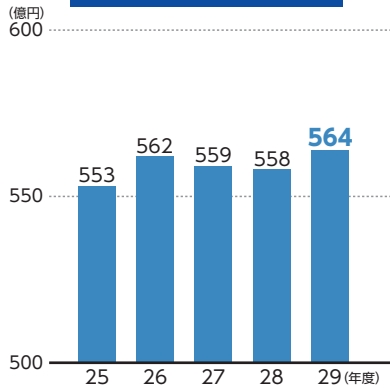
平成29年度一般会計の決算見込みがまとまりました。歳入では、市税や地方交付税などが増加し、歳出では、扶助費や公債費などの義務的経費に加え、繰出金などが

増加しました。自治体の決算を表す実質収支は17億円の黒字となり、単年度収支では5千万円の黒字となりました。

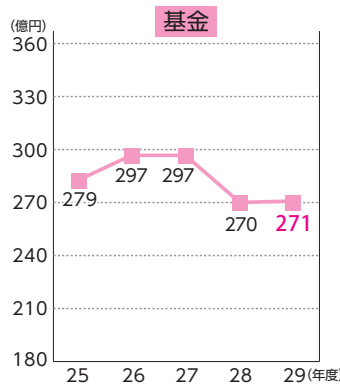
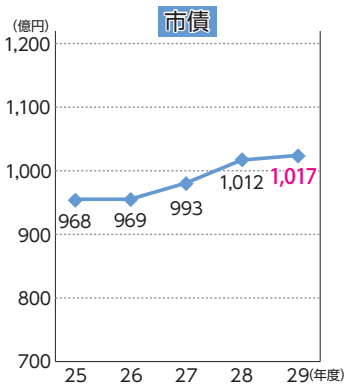
実質収支の推移



市税収入の推移

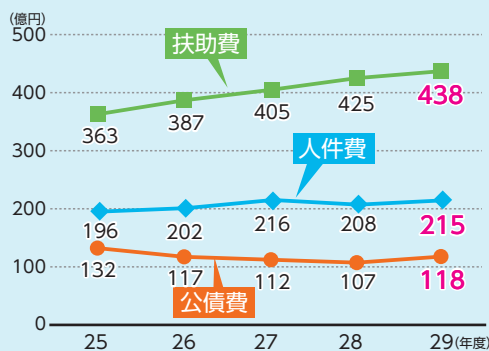


普通会計の市債・基金現在高の推移



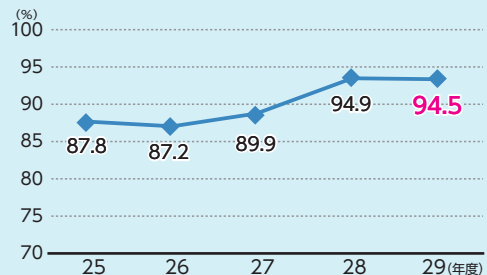
市債残高は5億円の増加
市債とは、多額の経費が必要な建設事業の単年度の負担を軽減し、計画的な財政運営を行うために国や銀行等から借りるお金のことです。このほか、地方交付税の不足分を補うための臨時財政対策債という借入金があります。
平成29年度末の市債現在高は、16億6千万円の繰上償還を行ったものの、前年度に比べて5億円の増加となりました。また、基金現在高は1億円の増加となりました。

普通会計の人員費・扶助費・公債費の推移



経常収支比率の推移

財政の弾力性を示す財政指標。数値が低くなるほど自由に使えるお金が増えることを示しています。



※決算の詳細は広報ひらかた10月号でお知らせします。